

2025年

北海道地方

11月の天候

2025年12月5日

札幌管区気象台

気象防災部 予報課

概況

— 西高東低の気圧配置が長続きせず多照。発達した低気圧の通過により多雨。 —

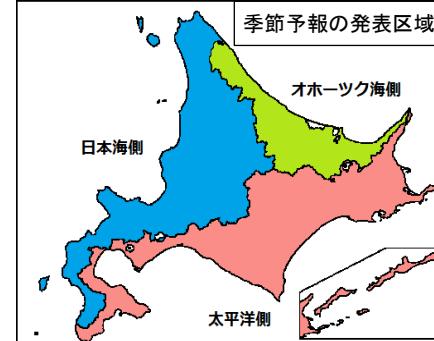
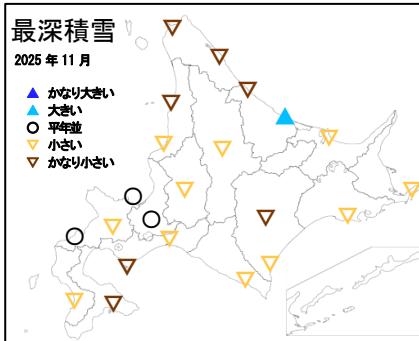
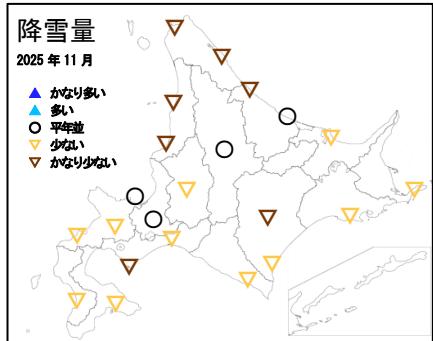
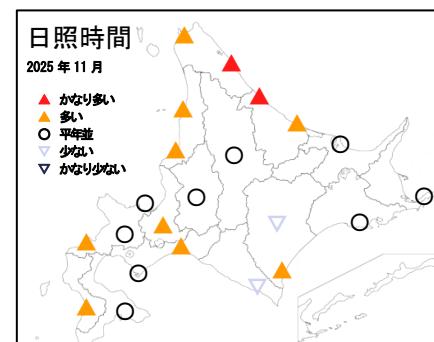
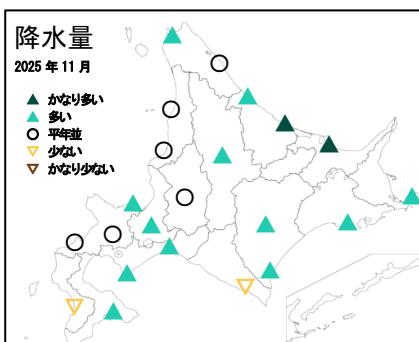
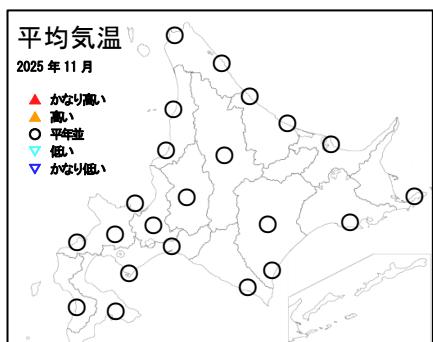
11月は、高気圧と低気圧が北海道周辺を交互に通過して天気が数日の周期で変化し、西高東低の気圧配置が長続きしなかった。このため、日照時間が日本海側で多く、オホーツク海側でかなり多かった。また、北海道地方の降雪量はかなり少なかった。一方で、1日には発達した低気圧が北海道付近を通過し、広い範囲で大雨となつたため、北海道地方の降水量は多かった。

上旬：低気圧や低気圧通過後の一時的な西高東低の気圧配置による寒気の影響で、曇りや雨または雪の日が多くなった。このため、北海道地方の日照時間は少なかった。また、1日には急速に発達した低気圧の影響で、51地点のアメダス観測点で日降水量が11月の極値となるなど、広い範囲で大雨となつたため、降水量はかなり多く、オホーツク海側では降雪量も多かった。寒気の影響を受けやすかつたため、北海道地方の気温は低かった。

中旬：数日の周期で低気圧が発達しながら北海道の北を通過し、通過後には西高東低の気圧配置となり、オホーツク海側や太平洋側では晴れたところが多かった。このため、太平洋側では降水量が少なく、降雪量も少なかった。日照時間はオホーツク海側でかなり多く、太平洋側で多かった。

下旬：数日の周期で低気圧が北海道の北を通過して西高東低の気圧配置は長続きせず、高気圧に覆われ晴れた日も多かった。このため、降水量は日本海側でかなり少なかった。日照時間は日本海側でかなり多く、オホーツク海側で多かった。また、低気圧に向かって南から暖かい空気が流れ込みやすかつたこともあり、北海道地方の気温はかなり高く、降雪量はかなり少なかった。

階級分布図



- ※ 本資料では、次のような階級を用いる。「低い（少ない、小さい）」「平年並」「高い（多い、大きい）」の階級は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる（各階級が10個ずつになる）ように決めている。また、値が1991～2020年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い（かなり少ない、かなり小さい）」「かなり高い（かなり多い、かなり大きい）」と表現する。
- ※ 概況欄における気温の高い・低い、降水量と日照時間の多い・少ない、積雪深の大きい・小さいという記述は、前項の階級を基準とする。かなり高い・かなり低い、かなり多い・かなり少ない、かなり大きい・かなり小さいについても同様。
- ※ データは速報値であり、後日変更される場合がある。

月の統計値(地域平均)

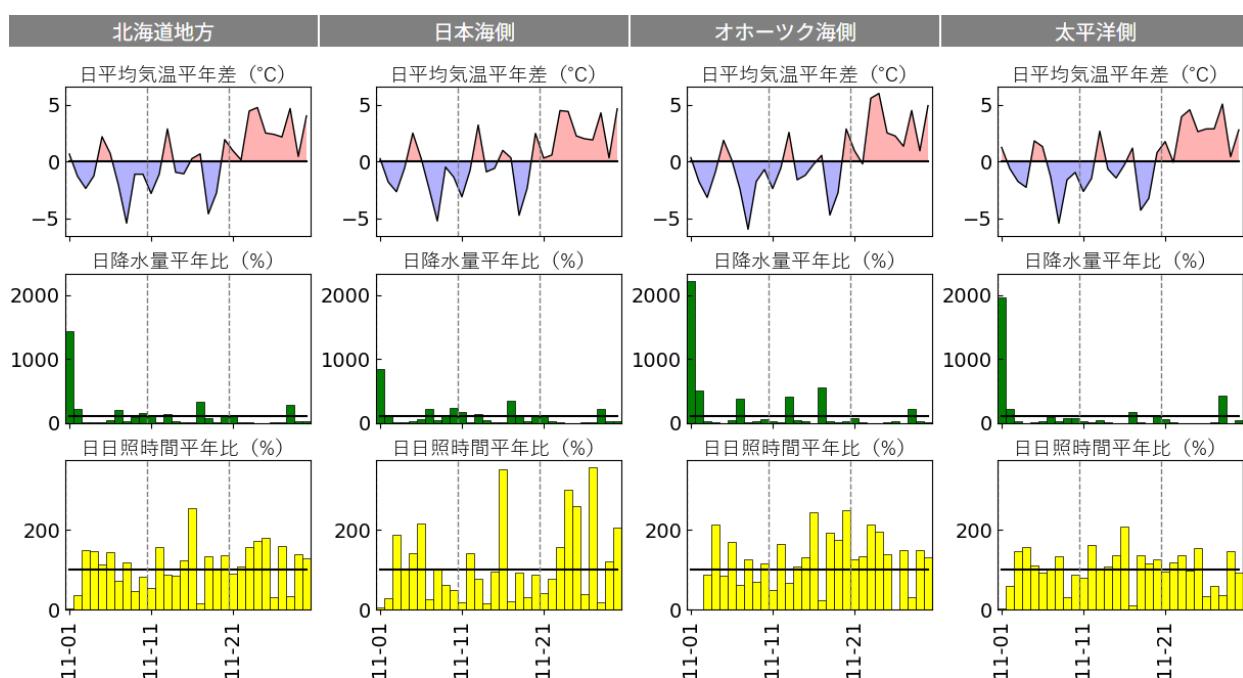
	平均気温		降水量		日照時間		降雪量	
	平年差(°C)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+0.2	0	122	+	111	+	27	--
日本海側	+0.3	0	103	0	112	+	42	-
オホーツク海側	+0.2	0	174	++	122	++	39	-
太平洋側	+0.2	0	120	+	102	0	1	--

旬の統計値(地域平均)

上旬	平均気温		降水量		日照時間		降雪量	
	平年差(°C)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	-1.2	-	241	++	92	-	78	0
日本海側	-1.2	-	167	+	93	0	72	0
オホーツク海側	-1.5	-	337	++	97	0	153	+
太平洋側	-1.0	-	285	++	90	-	0	0
中旬	平均気温		降水量		日照時間		降雪量	
	平年差(°C)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	-0.6	0	74	-	113	+	52	0
日本海側	-0.4	0	95	0	96	0	84	0
オホーツク海側	-0.6	0	98	0	144	++	57	0
太平洋側	-1.0	-	35	-	119	+	5	-
下旬	平均気温		降水量		日照時間		降雪量	
	平年差(°C)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+2.6	++	51	-	134	+	6	--
日本海側	+2.5	++	47	--	163	++	12	--
オホーツク海側	+2.8	++	54	0	129	+	3	--
太平洋側	+2.7	++	54	0	100	0	0	--

注) ・数値は、地域内の気象台等（日本海側10地点、オホーツク海側4地点、太平洋側8地点で北海道地方全体で22地点）の観測値の平年差または平年比の平均を示す。階級の++は平年よりかなり高い(多い)、+は平年より高い(多い)、0は平年並、-は平年より低い(少ない)、--は平年よりかなり低い(少ない)を示す。

気象経過図



注) グラフ横軸(日付)の□、▲、×は、該当する日の地域平均データ作成においてそれぞれ、欠測となった地点を含む場合、欠測となった地点が一定割合以上の場合、全ての地点が欠測の場合であることを示す。

月の統計値（地点別）

官署名	平均気温			降水量			日照時間			降雪量			最深積雪		
	本年	平年差	階級	本年	平年比	階級	本年	平年比	階級	本年	平年値	階級	本年	平年値	階級
	°C	°C		mm	%		h	%		cm	cm		cm	cm	
札幌	5.4	+0.2	0	164.0	144	+	110.0	111	+	27	30	0	12	15	0
稚内	4.2	+0.4	0	152.0	125	+	76.0	136	+	8	41	--	4	15	--
北見枝幸	3.3	+0.3	0	138.0	111	0	111.0	141	++	6	59	--	2	23	--
旭川	2.3	0.0	0	151.5	132	+	62.6	93	0	79	82	0	21	27	-
留萌	4.5	+0.1	0	113.0	81	0	61.3	118	+	6	35	--	4	13	-
羽幌	4.6	+0.2	0	125.5	78	0	63.2	118	+	7	44	--	4	18	--
岩見沢	4.2	+0.3	0	113.5	96	0	82.4	97	0	28	70	-	19	29	-
俱知安	3.3	+0.4	0	157.5	86	0	67.9	104	0	45	95	-	16	36	-
小樽	5.2	+0.3	0	196.5	129	+	84.3	106	0	23	36	0	11	15	0
寿都	6.1	+0.5	0	121.5	82	0	64.0	116	+	7	24	-	7	9	0
網走	4.0	0.0	0	100.5	173	++	123.4	102	0	3	13	-	1	6	-
紋別	3.7	+0.1	0	159.0	246	++	121.0	117	+	22	21	0	15	9	+
雄武	3.4	+0.5	0	127.5	165	+	126.1	129	++	6	31	--	2	13	--
釧路	4.8	+0.1	0	80.0	124	+	175.3	105	0	-	4	-	-	3	-
根室	5.6	0.0	0	102.5	123	+	150.6	102	0	-	2	-	-	2	-
帶広	3.5	0.0	0	73.0	135	+	160.5	95	-	-	10	--	-	7	--
広尾	5.4	+0.2	0	147.5	116	+	159.3	107	+	-	5	-	-	4	-
室蘭	6.9	+0.5	0	125.0	150	+	101.3	99	0	-	5	--	-	2	--
苦小牧	5.2	+0.3	0	108.5	127	+	139.2	110	+	-	4	-	-	3	-
浦河	6.6	+0.5	0	50.0	60	-	116.3	96	-	-	4	-	-	2	-
函館	6.3	+0.3	0	138.0	125	+	115.2	105	0	2	18	-	1	9	--
江差	7.7	+0.2	0	87.5	74	-	82.0	125	+	-	6	-	-	2	-

- 注) ・地域内の気象台等（日本海側10地点、オホーツク海側4地点、太平洋側8地点で北海道地方全体で22地点）の数値。
 ・平年値は1991～2020年の30年間の平均値。
 ・階級の++は平年よりかなり高い（多い、大きい）、+は平年より高い（多い、大きい）、0は平年並、-は平年より低い（少ない、小さい）、--は平年よりかなり低い（少ない、小さい）を示す。
 ・「」付きの値は欠測を含む。「」付きの値は一定の割合以上の欠測を含む。

月統計値の順位値更新一覧（第3位まで）

期間	要素	順位	地点	本年	平年差(比)	これまでの1位(年)	統計開始年
11月	月降水量(多い)	第2位	紋別	159.0 mm	246 %	1700 mm (1972)	1956
	月間日照時間(多い)	第3位	北見枝幸	111.0 h	141 %	116.0 h (1984)	1942

- 注) ・地域内の気象台等（日本海側10地点、オホーツク海側4地点、太平洋側8地点で北海道地方全体で22地点）の数値。

お問い合わせ先

札幌管区気象台 気象防災部 予報課
TEL (011) 676-5025